



出典の示し方 Shortened footnotes法



利用者:Akaniji
Home wiki: ウィキペディア日本語版

ウィキペディア日本語版において、出典は主に①general referencing法、②バンクーバー方式、③shortened footnotes法(en:WP:CITE)の3種類で示されていることが多い。しかし、いずれにも該当しない、若干わかりにくい方式も散見される。このような混乱は、ウィキペディア日本語版の出典指針「Wikipedia:出典を明記する」に手本が示されていないことも一因であると考えられる。冒頭に挙げた3種の示し方のうち、shortened footnotes法は比較的ウィキペディアとの親和性に優れているため、この方式で作成された手本を指針に収録すると、初心者への混乱等を予防し、信頼できる百科事典作りに寄与できるとと思われる。

①General referencing法

末尾の参考文献節に、出典を列挙するだけの方式。短い記事であれば文献の数も少ないので、検証にあたって支障はないが、長い記事だと検証が困難な方式。

【入力例】

第1文。第2文。第3文。第4文。第5文。

== 参考文献 ==

- * 伊藤三郎 (2003) 三枚目一代。三報印刷。
- * 鈴木一郎 (2001) はじめの一步。第一出版。
- * 田中次郎 (2002) 次の一手。双峰社。

【出力例】

第1文。第2文。第3文。第4文。第5文。

参考文献

- 伊藤三郎 (2003) 三枚目一代。三報印刷。
- 鈴木一郎 (2001) はじめの一步。第一出版。
- 田中次郎 (2002) 次の一手。双峰社。

②バンクーバー方式

本文に<ref>で出典の書誌情報を埋め込み、参考文献節に<references />を置いて表示させる方式。General referencingを許容しないため、general referencing法の記事にinlineで出典を追加する場合、この方式に切り替えるにはかなりの労力がかかり、また論争の火種にもなりかねない。

【入力例】

第1文<ref>鈴木一郎 (2001) はじめの一步。第一出版。</ref>。第2文<ref name="tanaka2002">田中次郎 (2002) 次の一手。双峰社。</ref>。第3文<ref name="tanaka2002"/>。第4文<ref>伊藤三郎 (2003) 三枚目一代。三報印刷, p. 12。</ref>。第5文<ref>伊藤三郎 (2003) 三枚目一代。三報印刷, p. 24。</ref>。

== 参考文献 ==

<references />

【出力例】

第1文^[1]。第2文^[2]。第3文^[2]。第4文^[3]。第5文^[4]。

参考文献

- ¹鈴木一郎 (2001) はじめの一步。第一出版。
- ² a b 田中次郎 (2002) 次の一手。双峰社。
- ³伊藤三郎 (2003) 三枚目一代。三報印刷, p. 12。
- ⁴伊藤三郎 (2003) 三枚目一代。三報印刷, p. 24。

③Shortened footnotes法

本文に<ref>で出典の書誌情報を埋め込み、脚注節に<references />で表示する。同一文献から複数箇所を使用する場合は、著者姓・発行年・該当ページ番号のみを<ref>内に記載し、その他含む書誌情報は参考文献節に記す(ハーバード方式の簡略的応用)。

【入力例】

第1文<ref>鈴木一郎 (2001) はじめの一步。第一出版。</ref>。第2文<ref name="tanaka2002">田中次郎 (2002) 次の一手。双峰社。</ref>。第3文<ref name="tanaka2002"/>。第4文<ref>伊藤 2003, p. 12。</ref>。第5文<ref>伊藤 2003, p. 24。</ref>。

== 脚注 ==

<references />

== 参考文献 ==

- * 伊藤三郎 (2003) 三枚目一代。三報印刷。

【出力例】

第1文^[1]。第2文^[2]。第3文^[2]。第4文^[3]。第5文^[4]。

脚注

- ¹鈴木一郎 (2001) はじめの一步。第一出版。
- ² a b 田中次郎 (2002) 次の一手。双峰社。
- ³伊藤 2003, p. 12。
- ⁴伊藤 2003, p. 24。

参考文献

- 伊藤三郎 (2003) 三枚目一代。三報印刷。

Shortened footnotes法の長所

出典を示す目的は、独自研究や偽りの情報の排除である。General referencing法は、短い記事であれば検証に有用であるが、長い記事になるほど、どの記述がどの文献を論拠にしているかわかりにくくなり、記事量が一定量を超えた時点でinline citationに切り替える必要が生じてくる。

Inline citationの方法としては、②バンクーバー方式と③shortened footnotes法がある。バンクーバー方式の難点は、general referencing法と共存できない点にある。Shortened footnotes法であれば、参考文献節にgeneral referencesを残したまま、inline citationを脚注節に追記することが可能であり、無用な論争を巻き起こさずに済む。

出典を示す作業は、wiki文法的にも<ref>や<references />タグ、場合によっては{{Harvnb}}や{{Citation}}を用いるなど、初心者には難解である。難解ではあるが、しかし非常に重要かつ必須の作業であり、手本を示すことにより、新規参加者のミスや混乱を防止することができるかもしれない。手本としては、左記「③Shortened footnotes法」の入力例と出力例で十分かと思われるので、これを「Wikipedia:出典を明記する」になんらかの形で盛り込めれば、と個人的には考えている。無論、①general referencing法や②バンクーバー方式を否定するつもりは毛頭なく、指針の改訂にあたって、既存の項目を新指針にあわせる形に変更する必要はない。出典を示す目的は独自研究の排除であって、それが達成されていれば、どのような出典の示し方でも構わない、というのが筆者の考えである。あくまでも初心者のための手本として示すのが趣意である。